

製品名: Cdc34 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08512**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC34 CDC34; UBCH3; UBE2R1; Ubiquitin-conjugating enzyme E2 R1; Ubiquitin-conjugating
別名	enzyme E2-32 kDa complementing; Ubiquitin-conjugating enzyme E2-CDC34; Ubiquitin-protein ligase R1
遺伝子 ID	997.0
SwissProt ID	P49427
免疫原	抗血清はヒト CDC34 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

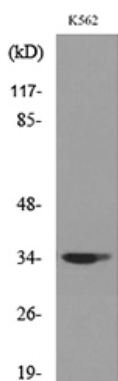
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ユビキチン結合酵素ファミリーのメンバーです。ユビキチン結合酵素は、ユビキチンと他のタンパク質の共有結合を触媒します。このタンパク質は、ユビキチンを介した細胞周期 G1 調節因子の分解、および DNA 複製の開始に必要な、大規模な多タンパク質複合体の一部です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + ユビキチン + タンパク質リジン = AMP + ニリン酸 + タンパク質 N-ユビキチルリジン。機能: ユビキチンと他のタンパク質の共有結合を触媒します。カテニンの分解に関与している可能性があります。経路: タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。類似性: ユビキチン結合酵素ファミリーに属する。サブユニット: SCF (SKP1-CUL1-F-box タンパク質) E3 ユビキチンリガーゼ複合体と相互作用する。リン酸化されると、 β -TrCP (BTRC) と相互作用する。

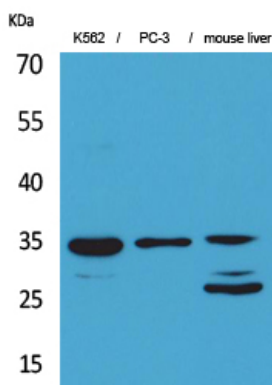
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

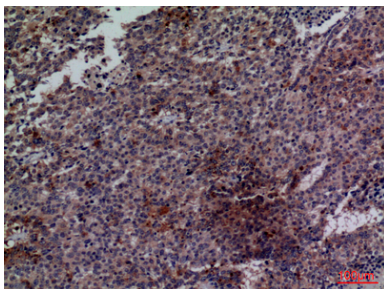
画像データ



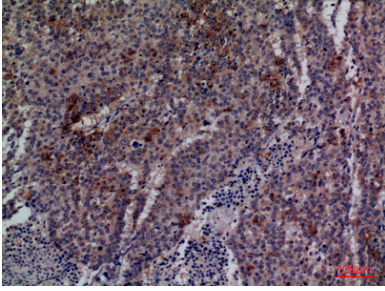
CDC34 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウエスタン プロット分析。



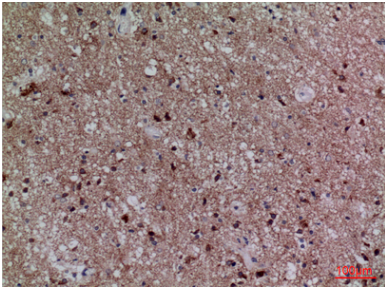
Cdc34 ポリクローナル抗体を使用した K562、PC-3 マウス肝細胞のウエスタン プロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された